

職員による自己評価

- A環境面
 - 手狭な為、公園を利用する等工夫している
 - 小集団での活動は多少の制約をしている
- B児童への支援内容
 - 学校との連携は今のところ取ってはいないが、支援にあたる担当間の情報共有は糸田かく行っている
- C関係機関との連携
 - △ 専門機関との連携はコンスタントではないが、必要に応じて研修等、参加するよう努めている
- D保護者への説明責任・信頼関係
 - △ 父母の会は現在行っていない
 - 月1回の頻度で個別に相談・報告する機会を設けている
- E非常対応
 - セリハットの情報・事故報告は適時周知し、安全対策を構じている

保護者による評価

- A環境面
 - △ 活動のスペースが十分ではない
 - △ バリアフリー化の配慮
- B児童への支援内容
 - ニーズに基づいた支援がなされている
 - △ 他地域施設・児童との関わりが少ない
- C事業所からの情報発信
 - 支援の内容・相談・説明への対応
 - △ 父母の会 活動支援
- D非常対応
 - 定期的に避難訓練を行っている
 - △ マニュアルの周知・説明

事業所内での分析

【共通点】

- ◎ 支援の内容・情報の共有など サービス全般
- △ 外部関係機関との連携・父母の会サポート

【相違点】

- ・特に大きな相違はなし

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・ニーズに基づいたサービス・支援
- ・活動スペースの確保のため公園を利用する等の工夫
- ・支援に対する相談・説明・助言の対応を適時行っている

事業所の改善点

- ・活動スペースの狭さ
- ・父母の会の活動支援
- ・他地域施設・児童との関わり

事業所の改善への取り組み

- ・施設外の活動の幅を広げて、地域資源を用いた活動の機会を増やしていく
- ・必要に応じて保護者の方へのアンケートを実施する
その内容によっては事業所内で出来るようなところから父母の会の検討をしていく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所の強みである お子様自身への発達支援について、高い評価を頂き励みになると同時に、今後更に研鑽を積んでいきたい。

また、家族支援・地域支援にも出来るところから力を入れ、より包括的な支援を提供できるよう目指したい。

事業所名 発達療育 レンテ
担当者 赤場 きみ子